



御館中通信

福島県郡山市立御館中学校

令和4年3月10日発行

第17号

<3年生最終号>

文責 校長 大内 晋

明日は卒業式です。おめでとうございます！

明日は第75回御館中学校卒業証書授与式です。

23名の卒業生の皆さん、卒業おめでとう。

明日の「校長式辞」、PTA会長さんの「ご祝辞」、在校生代表の「送辞」、卒業生代表の「答辞」をしっかりと聴いてください。そして思いを込めた式歌（在校生の「花束」、卒業生の「結（ゆい）」）を聴かせてください。

今回は、今年度、新任校長で赴任した私が感じたこと、してきたことを少し振り返ってみたいと思います。



新学期当初

制服やジャージに名前がない（これは登下校時の犯罪予防が理由で市内の多くの学校もそうなります）ので、なかなか名前が覚えられず、（1年生は体の線が細く何となくわかりましたが）、まず、2年生と3年生の区別が付きませんでした。しかも、同じ苗字が多く、先生方は生徒を「下の名前」で呼ぶので、さらに似ている名前や、少し変わった読みをする名前もあり、顔と名前が一致せず本当に困りました。

校長は授業も部活動もちません。その上、本校の校長室は生徒の活動する動線上になく、生徒は家庭科室や多目的室に行くときは西階段を使用するため、保健室に係の仕事で来たり、具合が悪くなった生徒しか通りません。しかし、生徒はほとんど皆健康です。結果、登校時のあいさつの時に出会う数名の生徒とだけ顔を合わせあいさつするぐらいでした。授業参観しても、生徒は前を向いているし、生徒と会話するわけにもいきません。

そこで、まず1年生を3人ずつ校長室に呼んで自己紹介をさせ、顔写真を撮り、学区の地図の自宅の位置にピンを刺してもらいました。なぜ写真を改めて撮ったかという、年度当初の集合写真に写っている子どもたちの顔は、2週間も経つと、どの学年の子も幼さが抜けて違う生徒のようになるからです。

その後、2、3年生も顔写真を撮らせてもらったことで全校生の顔と名前を覚えることができ、個人的な声かけや情報の確認と活用をすることができました。

部活動、中体連大会

本校には私自身がやってきた、あるいは過去に指導したことのある部活動が3つあります。部活動でも練習や、祝休日の協会主催の大会にも足を運び、ユニフォームの背番号や、プレーの印象で少しずつ生徒の名前が覚えられるようになっていきました。保護者のみなさんが会場に入れない中、校長の応援枠で応援に行きました。一生懸命がんばっているのに負けた生徒たちに声を掛けるのがつらく、戦術や技術面で口出ししては生徒が迷うと思い、気持ちの面での励ましをしてきたつもりですが、負けると悔しい気持ちが尾を引いていることもありました。

私もこれまで約30年の部活動指導の間には、出れば負けを繰り返していた頃があったことを思い出し「『どうせムリ』はダメ（＝最初からやってもダメだとあきらめるな）」。「昨日（前回）の自分より良くなれたかを振り返る」という檄（ゲキ）を飛ばすようにしてきました。

受験、学習

学習面で困っている生徒は、「勉強のやり方がわからない」ということが多いので、「勉強に対しての考え方」「具体的な方法」「受験生として」など、担任の先生を介して資料を配付したり直接話をしたりしてきました。

私は、先生方より放課後に少し余裕があるので、「校長室に勉強にきてもいい」と伝えてもらったのですが、子どもたちには抵抗があったようでした。それでもごくわずかの生徒と数回、一緒に勉強することができ、私も楽しかったです。この件については、来年度も強制はしませんし希望もとりませんが、勇気をもって校長室のドアをノックしてほしいと思います。

なお、生徒のみなさん、「ここがわからないんです」と言えば、どの先生も喜んで教えてくれることを忘れないでください。

卒業生の保護者の皆様、大変お世話になりました。

（本校HPのQRコードは変わりませんので、卒業しても折に触れご覧ください）